平成22年度事務事業評価表（平成21年度振り返り）

政策名	快適な都市環境が整ったまち

施策番号・名	25	防犯対策の充実

基本事業番号・名	25-01	防犯対策の連携・促進

事務事業番号	所管課係名 事務事業名	事務事業の目的（事務事業の対象、手段、意図）		対象指標（対象の数値指標化） 指標	実績値（単位）	活動指標（手段の数値指標化） 指標	実績値（単位）	成果指標（意図したことの結果の数値指標化） 指標	実績値（単位）	事業費（実績額）①	人件費（理論値）②	トータルコスト ①+②	改革・改善の余地（目的妥当性・効率性・有効性・公平性から）	改革・改善の余地を踏まえた平成23年度以降に向けた事務事業の方向性（所管課長記入欄）
25-01-01	福祉総務課 福祉政策係	対象	犯罪や非行のない社会を願う市民	関連行事に参加できると思われる概ね5歳以上の市民の数	平成21年度 110,132（人）	関連行事（駅頭宣伝、パレード、ポスター展）参加者数	平成21年度 890（人）	関連行事参加者数／関連行事に参加できると思われる概ね5歳以上の市民の数	平成21年度 0.8（％）	平成21年度 100	平成21年度 754	平成21年度 854	選択項目：22年度以降に向けた方向性　説明（選択理由）：縮小 改善の余地　■ あり　□ なし 昨年度、事業内容について見直しを図り、従来のパレードから音楽祭に変更している。今後、事務局の負担軽減のため、他団体への応援をお願いしていきたい。	選択項目：所管課長名：　説明（選択理由）：福祉総務課　小島信行 23年度以降に向けた方向性：縮小 運動の趣旨を従前より理解されて来た、音楽祭も大変好評であり、今後は市の関りを検討して行く。
	社会を明るくする運動支援事業	手段	5月の推進委員会で日程、内容等決定。7月に駅頭宣伝活動及び市民のつどい・音楽祭、10月の市民文化祭でポスター、習字展		平成20年度 109,104（人）		平成20年度 1,752（人）		平成20年度 1.61（％）	平成20年度 100	平成20年度 543	平成20年度 643		
		意図	市民が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深める契機となる。		平成19年度 109,633（人）		平成19年度 1,549（人）		平成19年度 1.41（％）	平成19年度 100	平成19年度 543	平成19年度 643		
25-01-02	防災防犯課 防災防犯係	対象	東久留米市防犯協会	市民人口	平成21年度 114,717（人）	防犯協会の活動、事業への参加者数（会員・市民・事業所等）	平成21年度 1,539（人）	市内は防犯上、安全であると感じている市民の割合	平成21年度 59.1（％）	平成21年度 700	平成21年度 3,532	平成21年度 4,232	選択項目：22年度以降に向けた方向性　説明（選択理由）：現状維持 改善の余地　□ あり　■ なし 防犯活動に取り組んでいる協会に対し継続的支援を行い、市民意識の高揚を促進する。	選択項目：所管課長名：　説明（選択理由）：防災防犯課　増原貴文 23年度以降に向けた方向性：現状維持 防犯対策に対する市民ニーズの高まりを踏まえ、防犯活動を警察署、行政、防犯協会、市民の連携を推進して行く。
	防犯協会支援事業	手段	・補助金の交付（申請・報告） ・防犯協会の主な活動 （防犯対策の研究、防犯運動の計画策定、防犯パトロール、防犯予防の協力援助、青少年の健全育成事業（野球大会の実施）		平成20年度 114,300（人）		平成20年度 1,626（人）		平成20年度 59.1（％）	平成20年度 700	平成20年度 3,461	平成20年度 4,161		
		意図	安全で安心して生活できるまちづくりの推進と市民等の自主的な地域安全活動を支援する。		平成19年度 114,376（人）		平成19年度 1,659（人）		平成19年度 46.9（％）	平成19年度 700	平成19年度 3,461	平成19年度 4,161		
25-01-03	防災防犯課	対象	市民、団体、事業所	市民人口	平成21年度 114,717（人）	防犯に関する啓発・情報提供、防犯活動等	平成21年度 191（件）	防犯に気をつけて生活している市民の割合	平成21年度 90.4（％）	平成21年度 304	平成21年度 3,330	平成21年度 3,634	選択項目：22年度以降に向けた方向性　説明（選択理由）：現状維持 改善の余地　■ あり　□ なし 犯罪の未然防止や抑止効果をあげるため、防犯ボランティア団体、わんわんパトロール隊員、並びに事業所の車両による防犯パトロールなど防犯活動に使用する防犯グッズを購入し、貸与を継続する。	選択項目：所管課長名：　説明（選択理由）：防災防犯課　増原貴文 23年度以降に向けた方向性：現状維持 今後とも、犯罪の未然防止や抑止効果をあげるため、自治会、老人クラブ、会社などを中心とした防犯ボランティア団体の育成・支援を継続していく。
	防犯に関する事務	手段	防犯用立て看板、録音テープによる市内広報宣伝、田無地区防犯連合会少年野球大会への参加、歳末特別警戒パトロール、防犯グッズの貸与、広報紙での防犯ＰＲ等		平成20年度 114,300（人）		平成20年度 30（件）		平成20年度 90.4（％）	平成20年度 954	平成20年度 3,263	平成20年度 4,217		
		意図	安全で安心して生活できるまちづくりの推進と市民等の自主的な地域安全活動を支援する。		平成19年度 114,376（人）		平成19年度 40（件）		平成19年度 92.0（％）	平成19年度 220	平成19年度 3,254	平成19年度 3,474		
25-01-04	防災防犯課	対象	市民、団体、事業所	市民人口	平成21年度 114,717（人）	協議会の開催及び開催事業数	平成21年度 2（回）	市内は防犯上、安全であると感じている市民の割合	平成21年度 59.1（％）	平成21年度 202	平成21年度 363	平成21年度 565	選択項目：22年度以降に向けた方向性　説明（選択理由）：現状維持 改善の余地　■ あり　□ なし 今年７月から東久留米市安全・安心まちづくり推進協議会は新たな委員となる。新たな委員で今後の協議会の在り方、活動等について、協議するため、２２年度以降の方向性に不確定な部分もあることから現状維持とする。	選択項目：所管課長名：　説明（選択理由）：防災防犯課　増原貴文 23年度以降に向けた方向性：現状維持 防犯活動に取り組んでいる協議会に対し継続的支援を行い、市民意識の高揚を促進する。
	東久留米市安全・安心まちづくり推進協議会開催事業	手段	「東久留米市安全・安心まちづくり推進協議会」の主催により、自治会、自主防犯グループを集め防犯講演会を実施した。		平成20年度 114,300（人）		平成20年度 3（回）		平成20年度 59.1（％）	平成20年度 146	平成20年度 356	平成20年度 502		
		意図	安全で安心して生活できるまちづくりの推進と市民等の自主的な地域安全活動を支援する。		平成19年度 114,376（人）		平成19年度 3（回）		平成19年度 46.9（％）	平成19年度 114	平成19年度 355	平成19年度 469		